

A stylized human figure logo consisting of a black circle for the head and a blue shape for the torso and arms, set against a black diagonal background.

# 2022

2021.4.1 ~ 2022.3.31

2022年3月期 決算のご報告

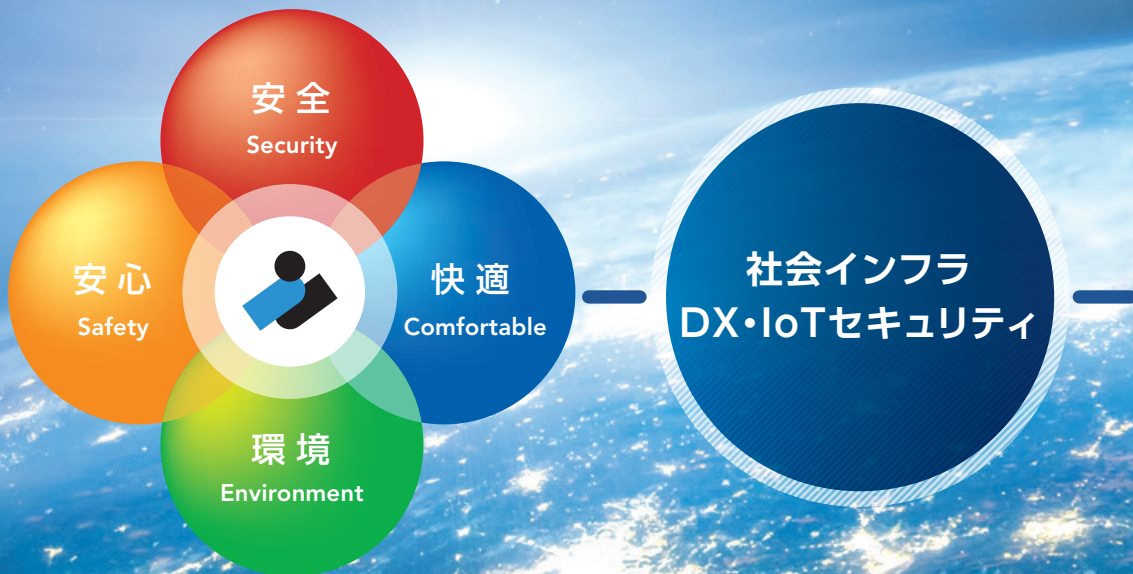
イノベーションで未来を共創する  
エンジニアリング企業へ

東証プライム 証券コード:3837


 **アドソル日進**

# イノベーションで未来を共創する

「安心」「安全」「快適」「環境」をキーワードに、  
豊かな社会への発展に向けて、私たちは、挑戦します。



Infrastructure



エネルギー（電力・ガス）

系統・制御	新電力
スマートメーター	脱炭素
託送システム	VPP

Advanced Industry



モビリティ・交通インフラ

次世代自動車	鉄道
航空	宇宙

Advanced Industry



メディカル・ヘルスケア

電子カルテ	病院・介護施設
検査機器	診断装置
地域医療	遠隔医療

Infrastructure



通信

ビヨンド5G / 6G	仮想基地局
量子暗号化	ローカル5G

Advanced Industry



ペイメント

クレジットカード
決済基盤
キャッシュレス

Infrastructure



防災

自治体防災	気象
流域治水	ダム監視
強靱化	早期復旧



代表取締役会長 兼 CEO

代表取締役社長 兼 COO

上田 富三

篠崎 俊明

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
2022年3月期における業績および取り組みにつきましてご報告申し上げます。  
業績面では、新型コロナウイルス感染症の拡大により、電力・ガスの大型案件でプロジェクト開始が遅延したことなどから、売上高は122.4億円となりました。  
一方、中長期的な成長に向け、DX人材育成等の各種投資を推進した結果、営業利益は10.8億円となりました。

取り組み面では、フランスを拠点に事業展開するグローバル企業「シュナイダーエレクトリック社」や、世界No.1総合モーターメーカー「日本電産株式会社」とのDXアライアンス体制の構築、「東京大学」との宇宙・衛星データに関する共同研究をはじめとするオープン・イノベーション、人材育成や、将来の事業拡大を見据えた開発体制強化等に積極的に取り組みました。

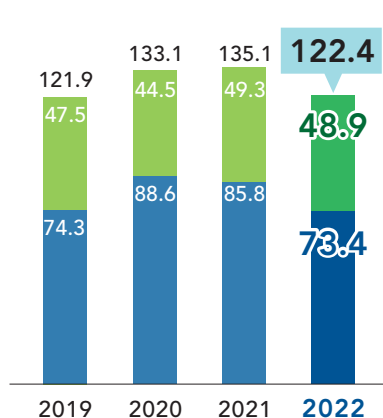
今後とも持続的成長と、一層の企業価値向上を図ってまいります。  
引き続きご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2022年6月

売上高 (単位:億円)

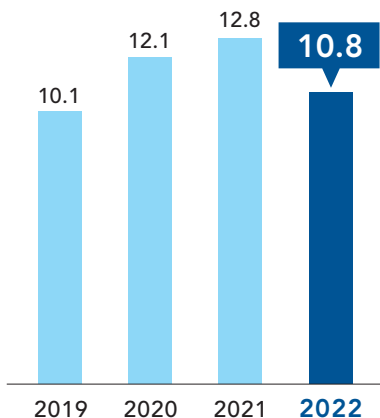
■ 社会インフラ事業  
■ 先進インダストリー事業

122.4 億円



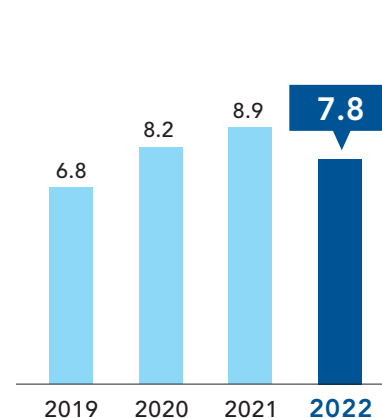
営業利益 (単位:億円)

10.8 億円



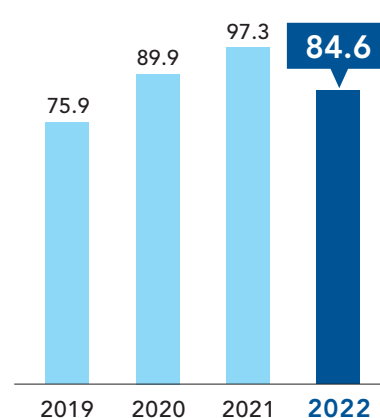
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:億円)

7.8 億円



1株当たり当期純利益 (単位:円)

84.6 円

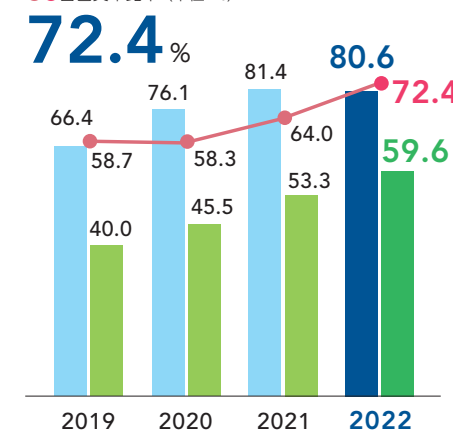


総資産/純資産/自己資本比率

■ 総資産 (単位:億円) ■ 純資産 (単位:億円)

80.6 億円 59.6 億円

● 自己資本比率 (単位:%)



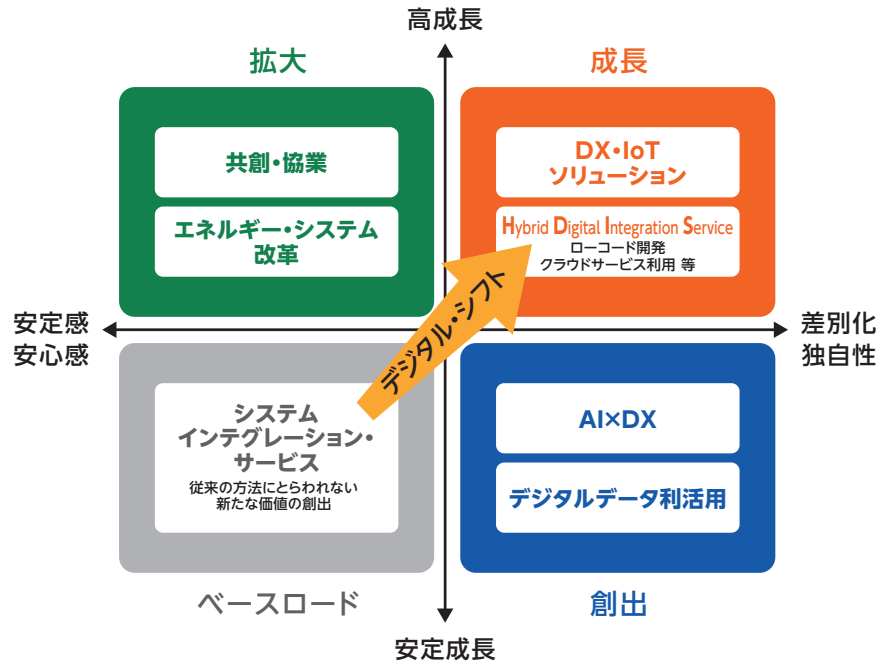
※2021年3月期より連結財務諸表を作成しています。2020年3月期以前の値は単体財務諸表の値を参考として記載しております。

## 進化するICT市場

## 「DX」によるビジネス変革に向けて

### ICTの新潮流 大きな注目を集める「DX・デジタル化」

社会インフラや、日本のモノづくりをリードする企業で広がる「データ利活用」、「新ビジネス創出」、「競争優位の確立」。今、これらを実現する「DX・デジタル化」をテーマとした投資が本格化の兆しを見せています。

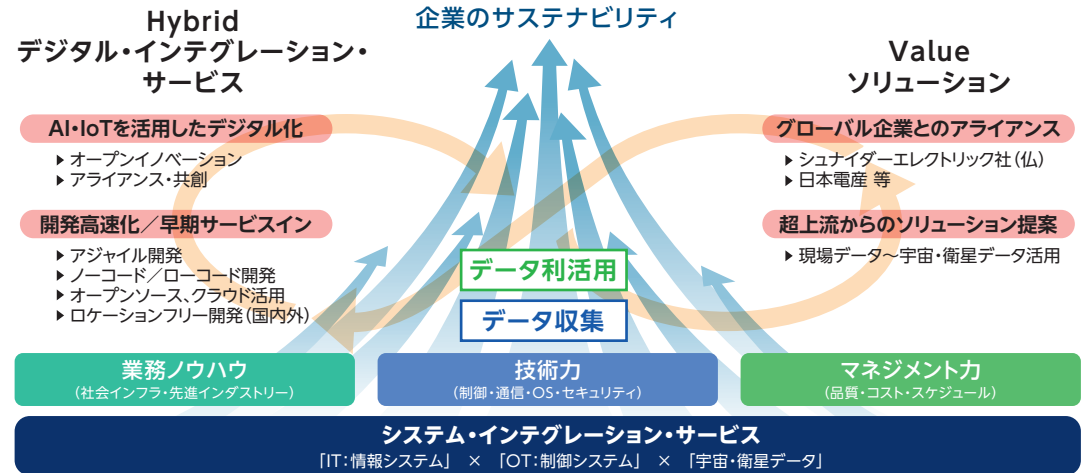


お客様からは、これまでの「高品質なICTシステム」の提供に加え、「デジタル・シフト」への貢献が求められています。このご期待にお応えするため、DX・IoT活用の「コンサルティング」提供や、AI等「最先端テクノロジー」の利活用、ローコード採用による「開発期間の短縮」の実現を通じて「新たな価値をお客様と共創するアドソル日進」へと、事業モデルの変革に挑戦してまいります。

### Change & Challenge 「DX・デジタル」のアドソル日進へ

DXの大きな潮流のもと、当社はシステム・インテグレーション・サービスをベースロードに、安定した着実な成長を図ります。さらに、「Change & Challenge」をキーコンセプトに「DX・デジタル」のアドソル日進として事業の拡大・成長を目指してまいります。

#### DX:デジタルトランスフォーメーション



### 「変革」と「成長」のポイント

当社は1976年の創業以来、暮らしと社会を守る社会インフラや、日本のモノづくりを支える製造業などのお客様へのシステム提供を通じ、豊かな社会の発展に貢献してまいりました。半世紀近くにわたり培った業務ノウハウ、技術力や、マネジメント力をベースに、「Hybridデジタル・インテグレーション・サービス」と、当社独自の「Valueソリューション」の提供を通じて「デジタル・データの利活用」による「DX」を推進してまいります。この実現に向け、AI・IoTを活用したデジタル化やグローバル企業とのアライアンスによるソリューション、超上流からのコンサルティングに至るまで、ワンストップで提供できる体制を強化します。これらの取り組みにより、お客様のビジネス変革とサービス提供の早期化、ひいては、「サステナビリティ」に貢献してまいります。

# 「DX」による持続可能な社会の実現へ



世界で最も持続可能な企業 第1位\*  
シュナイダーエレクトリック社(仏)  
業務提携!

国内初! SIパートナー契約

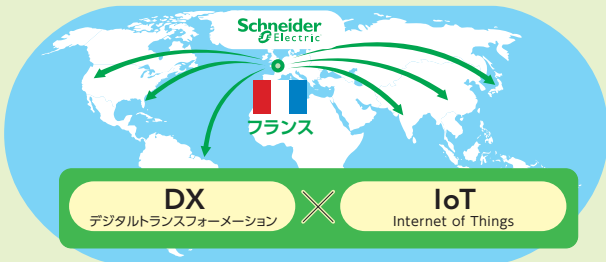
~世界標準のDXを国内・共同展開~



### シュナイダーエレクトリック社

本拠地: フランス  
(事業展開 世界100カ国以上)  
売上高: 252億ユーロ(約3兆7千億円)  
事業概要: ビル、データセンター、基盤インフラ、産業向けに、エネルギーマネジメントと、オートメーションのデジタルトランスフォーメーションを推進  
U R L: <https://www.se.com/jp/ja/>

シュナイダーエレクトリック社の、グローバルに展開する最新DXソリューションに、当社の技術力を融合させ、社会インフラ関連や、日本のモノづくりを推進されるお客様のDXやIoTに貢献することを目指し、協業を推進してまいります。



\*2021年 コーポレートナイツ Global 100 Index



航空・宇宙工学分野で世界をリード

東京大学大学院  
共同研究開始!

宇宙デジタル・データ/人材育成

~宇宙データでイノベーションを実現~

「東京大学大学院工学系研究科」と、航空・宇宙工学分野における、「デジタル・データの利活用」および、これを実現する「人材育成(宇宙×IT)」などに関する共同研究を開始しました。

超小型衛星開発の世界的な第一人者であり、宇宙関連研究をリードする「中須賀 真一教授」と、**宇宙データ活用によるイノベーション**を目指します。



なかすか しんいち 東京大学 大学院工学系研究科  
中須賀 真一 航空宇宙工学専攻 教授

- 革新的な宇宙システムの研究開発を推進 (超小型衛星から大型の膜構造衛星までをカバー)
- 超小型衛星13機打上げ・運用に成功 (世界初の1kg衛星を含む)
- 数多くのベンチャー会社との連携 (超小型衛星の実利用・ビジネス化に向けた技術開発・利用開拓)
- 人工知能・制御などの基礎・応用研究 (宇宙システムの自律化・知能化) など



世界No.1総合モーターメーカー

日本電産株式会社  
業務提携!

位置情報ソリューション事業

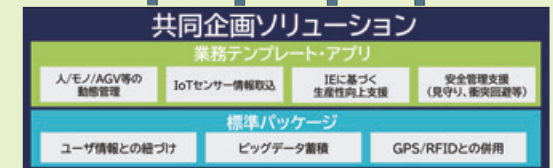
~日本を支える産業のDXを共同推進~



### 日本電産株式会社

創立: 1973年7月  
本社: 京都府京都市  
代表: 関 潤 (代表取締役社長執行役員)  
資本金: 877億84百万円(2022年3月末現在)  
証券コード: 6594(東証プライム市場)  
U R L: <https://www.nidec.com/jp/>

両社共同で、「DX・ソリューションパッケージ」を企画・開発し、製造業、物流・配送業、医療などのお客様に提供してまいります。当社は本提携において、業務テンプレート・標準パッケージ等の共同企画アプリや、GPS、RFID、セキュリティ等を担当し、お客様のDXに貢献します。



## SDGsトピックス



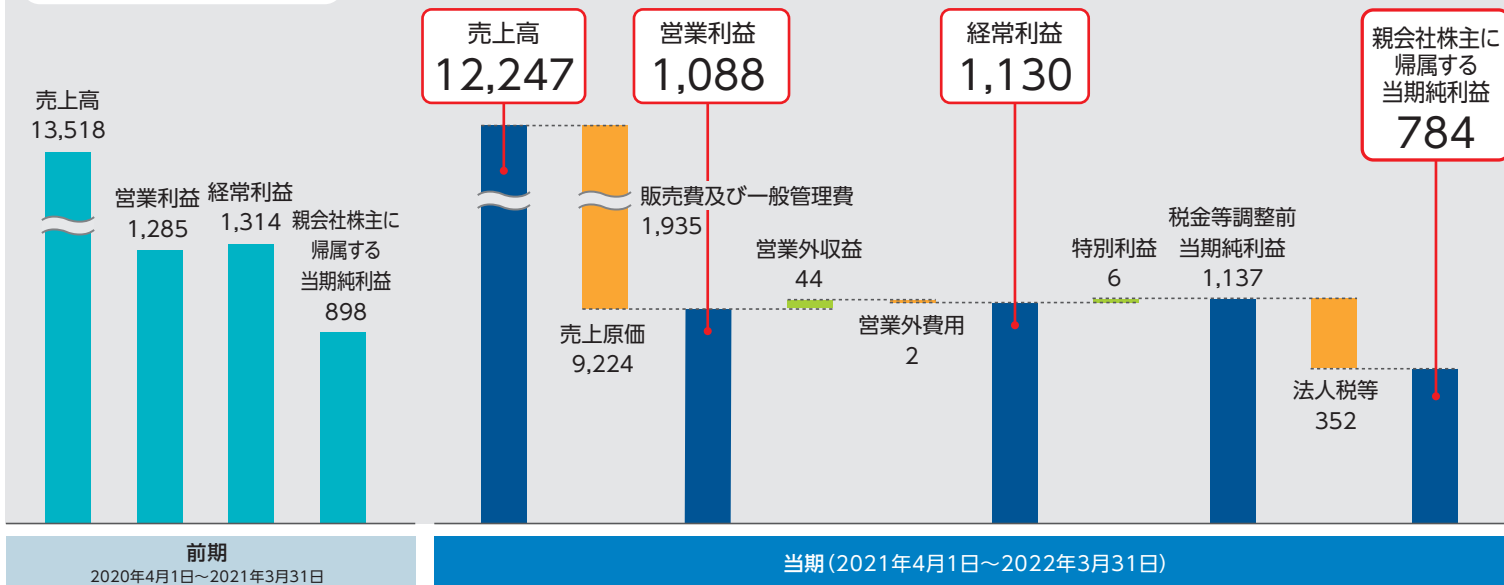
## 「TCFD提言」賛同、「TCFDコンソーシアム」加盟

気候変動に関する取り組みの一環として、当社はこのたび、「TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)」の提言に対する賛同を表明しました。あわせて、賛同企業・団体などで構成される「TCFDコンソーシアム」に加盟しました。



連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



Check Point

連結損益計算書のポイント

コロナ感染症の拡大により、顧客のICT投資判断に影響が生じ、電力・ガスの大型案件で、収益貢献が期ずれしたことから、売上高は12,247百万円、営業利益は1,088百万円となりました。

連結貸借対照表のポイント

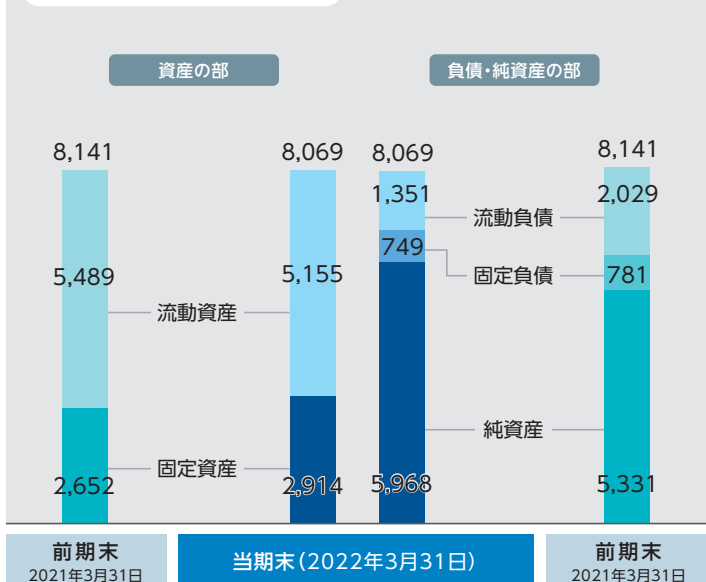
資産の部では、流動資産は減少、固定資産は増加し、資産合計は8,069百万円となりました。負債・純資産の部では、流動負債、固定負債ともに減少し、負債合計は2,101百万円となりました。純資産は、主に利益剰余金が増加したこと等により、5,968百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

営業活動によるキャッシュ・フローは1,781百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローは241百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは410百万円の支出となり、現金及び現金同等物の期末残高は2,806百万円となりました。

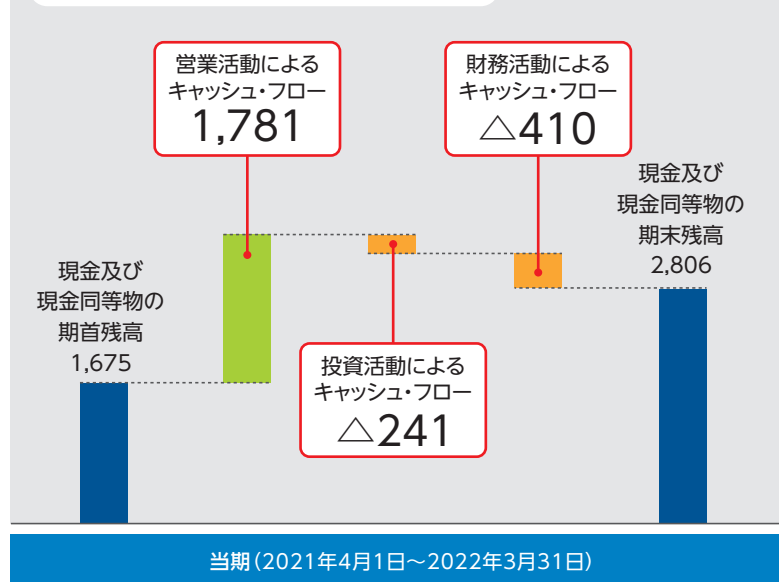
連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



次期業績予想 (2023年3月期)

売上高	128.0 億円	前期比 4.5%増
営業利益	11.2 億円	前期比 2.9%増
経常利益	11.5 億円	前期比 2.0%増
親会社株主に 帰属する 当期純利益	7.8 億円	前期比 0.1%増
1株当たり 配当金	37.0 円	前期比 1.0円増 (中間18.0円、期末19.0円)

## 会社概要 (2022年3月31日現在)

会社名	アドソル日進株式会社
英文社名	Ad-Sol Nissin Corporation
所在地	東京都港区港南四丁目1番8号
設立	1976年3月13日
代表取締役会長 兼 CEO	上田 富三
代表取締役社長 兼 COO	篠崎 俊明
資本金	5.7億円
事業内容	独立系のICT企業として、社会インフラ・システムを中核にIoTシステムの開発、およびセキュリティ・ソリューションの提供
従業員数	1,164名(グループ総数)
拠点	東京本社 <支社>関西、九州 <開発センタ>仙台 <米国子会社>米国サンノゼR&Dセンタ

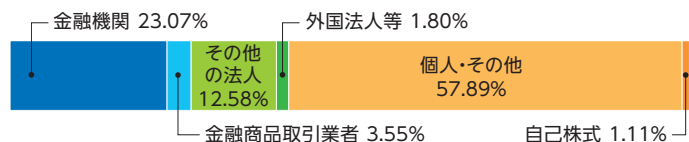
## 株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	28,800,000 株
発行済株式の総数	9,390,189 株
株主総数	6,654 名
大株主	

氏名又は名称	所有株式数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,087,500	11.71
アドソル日進従業員持株会	746,800	8.04
日本プロセス株式会社	494,000	5.32
株式会社日本カストディ銀行(信託B口)	336,300	3.62
株式会社インテック	316,300	3.41
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	264,000	2.84
株式会社みずほ銀行	186,000	2.00
株式会社パリュールHR	171,700	1.85
上田富三	138,800	1.49
株式会社三菱UFJ銀行	138,000	1.49
計	3,879,400	41.77

持株比率は自己株式(104,110株)を控除して計算しております。

## 所有者別株式分布状況 (2022年3月31日現在)

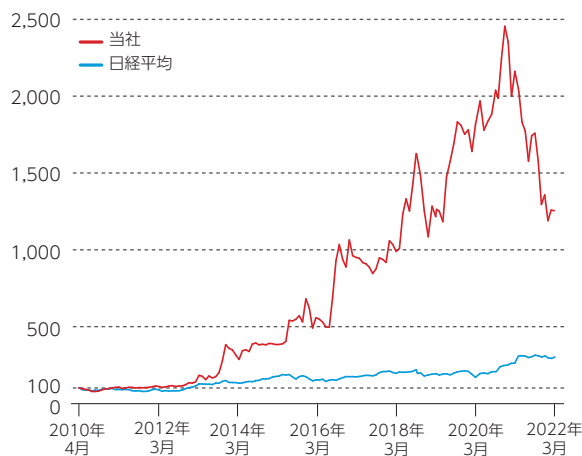


## 役員 (2022年6月28日現在)

代表取締役会長 兼 CEO	上田 富三
代表取締役社長 兼 COO	篠崎 俊明
常務取締役	大西 元
取締役	寺村 知万
社外取締役	峰野 博史
社外取締役	さか本 すが
社外取締役	ひろ田 耕一
社外取締役	たかみざわ のぶしげ
常勤監査役	ご後 関和浩
社外監査役	おおたき よしえ
社外監査役	えんどう ひろし
社外監査役	遠藤 宏

## 株価の推移 (2010年4月~2022年3月)

2010年4月を起点とした当社と日経平均の株価の推移を示したグラフです。2010年4月の株価を100として、その後どのように変動したかを示しています。



## 株主メモ

証券コード	3837
金融商品取引所	東京証券取引所 プライム市場
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告 ( <a href="https://www.adniss.jp/">https://www.adniss.jp/</a> ) ただし、やむを得ない事由によって電子公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載致します。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社

## 配当金のお受け取りについて

配当金領収証による配当金のお受け取り期間は2022年7月29日(金)までとなっております。  
口座振込をご指定されていない株主様は、同封の期末配当金領収証をご持参のうえ、お近くのゆうちょ銀行全国本支店および出張所ならびに郵便局(銀行代理業者)にてお早めにお受け取り願います。

### お受け取り期間が過ぎたら・・・

お受け取り期間を過ぎますと、ゆうちょ銀行、郵便局でのお受け取りはできません。  
配当金領収証の表面のお届出印欄にご押印のうえ、みずほ信託銀行、みずほ銀行の各本店および全国各支店にお持ちください。

### 配当金領収証を紛失されたら・・・

みずほ信託銀行証券代行部までご連絡ください。その際には、お支払の手続きに時間を要しますので予めご了承ください。

### 銀行振込等のご指定をおすすめします

配当金領収証による配当金のお受け取りは、お忘れになることもありますので、安心・確実な銀行振込等によるお受け取りをおすすめ致します。

# 株主ひろば

## 株主優待制度のご案内

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式への投資魅力を高め、中長期的に保有していただくことを目的として、株主優待制度を導入しています。

対象株主	時期
毎年9月30日、3月31日の株主様(年2回)	200株以上4,000株未満 : 12月、6月に優待品を発送予定 4,000株以上 : 11月、5月にカタログを発送予定

## 優待内容

### 200株以上4,000株未満

#### 「緑の募金」付きクオカード



200株以上1,000株未満	500円相当
1,000株以上2,000株未満	1,000円相当
2,000株以上4,000株未満	1,500円相当

#### 保有期間特典

保有継続期間1年以上で、クオカード1枚(年間2枚)を追加贈呈

※保有継続期間は、毎年9月30日および3月31日を基準日として、同一株主番号で1年以上継続して保有されている期間。(同一株主名簿に連続3回以上記録)

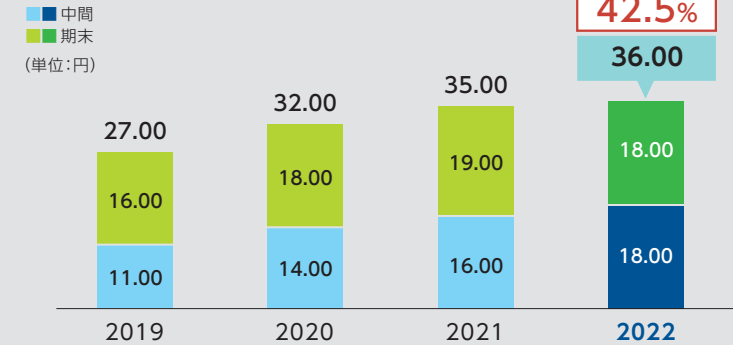
※このクオカードには、社会貢献寄付金として「緑の募金」が付いており、公益社団法人国土緑化推進機構へ寄付されます。集められた寄付金は、森林整備・緑化推進事業・森林に関わる人づくりに活用されています。

### 4,000株以上

#### 選べる株主優待(3,000円相当の商品から1品)を贈呈



## 配当金の推移



# アドソル日進株式会社

〒108-0075 東京都港区港南四丁目1番8号 リバーージュ品川  
TEL: (03) 5796-3131 (代表)

